

ふりがな	さなだきたかなめいせきぐん	
遺跡名	真田・北金目遺跡群 (平塚市No.50・235・237遺跡)	
調査期間	20121001～継続中	
所在地	平塚市真田・北金目地内	
時代	縄文 弥生 古墳 奈良・平安 中世 近世	

更新日:平成25年7月1日

調査原因	独立行政法人都市再生機構による平塚都市計画事業真田・北金目特定土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置	平塚市北西部、小田急線東海大学前駅から東方約1.5kmに位置する。
主な調査成果	縄文時代～近世までの遺構や遺物が出土しています。台地の端部縁辺部をめぐるよう中世～近世の溝が発見されています。溝は幅約3m・深さ1.5m、断面は逆台形を呈するしっかりとした掘り込みです。底面には、顕著な硬化面が形成されており、道として長期間使われていた様子がわかります。その他、縄文時代・弥生時代・古墳時代などの土器が出土しています。



▲ 溝状遺構調査状況



▲ 溝状遺構堆積状況



▲ 溝状遺構全景



▲ 真田・北金目遺跡群遠景(東から)